

2022年4月26日

SDGs達成に向けたペーパーレス化の取組みについて

佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）は、2019年10月に「佐賀銀行グループSDGs宣言」を制定し、環境負荷軽減の取組みとしてカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡）の観点も踏まえ、ペーパーレス化を進めております。

さらに、本年4月よりスタートした第17次中期経営計画の主要戦略の一つである「DX戦略」に、「行内DX・生産性向上」に向けた取組みとして「ペーパーレス化の拡大」を掲げております。

具体的には、「ペーパーレス化の取組みは、生産性向上の要諦」と位置付け、「紙を保管しない」「紙を発生させない」といった2つのアプローチのもと、下記の取組みを中心にデジタルツールの活用等により、行内業務の完全ペーパーレス化を目指し、業務効率化・事務削減に取り組めます。

当行は、今後も環境負荷軽減や生産性向上に継続して取り組むことで営業活動に注力できる態勢を構築し、地域・企業・個人のお客さまの利便性向上やサステナブルな地域社会の実現に努めてまいります。

記



1. 「紙を保管しない」取組み（2022年4月より着手）

行内文書の保存期間を全体的に見直し、保管文書の大幅削減を図ることで、紙を綴る・探すための作業時間を削減し、生産性向上に繋がります。併せて、書架やキャビネットの撤去を行うことで行員の紙使用削減に対する意識啓発を図ります。

2. 「紙を発生させない」取組み

デジタルツールの活用により業務をペーパーレス化することで、行内業務の効率化を図ります。これらの取組みにより銀行全体の紙使用量（対お客さま用、行内業務用の総量）の30%削減を目指します。

(1) 「後方事務支援システム」の導入（2022年5月全店稼働予定）

毎営業日、紙ベースで出力される自動配信帳票（役席が認めた取引一覧等10帳票）をペーパーレス化し、パソコン上で照会や確認および検証を行います。（紙使用量の10%程度削減）

(2) 「POWER EGG（パワーエッグ）」の導入（2022年10月全店稼働予定）

行内における紙ベースの管理表や元帳等を原則廃止し、パソコン上でのデジタルツール「POWER EGG（パワーエッグ）」を用いた管理に移行します。

本ツールの活用によりペーパーレス化に加え、営業店と本部の情報連携がリアルタイムに可能となることにより業務の可視化を実現します。（紙使用量の20%程度削減）

以上

《本件に関するお問い合わせ先》
業務管理サポート部 担当：横田・槇
TEL 0952(22)2112
<https://www.sagabank.co.jp>